

プログラム名 (40字以内)	北海道の遺跡博物館における学芸員体験と冬のオホーツク文化体験		
団体名/所属	大学院人文社会系研究科 附属北海文化研究 常呂実習施設		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2026/2/16(月)～2/19(木)	主な活動予定場所	常呂実習施設、北見市とこ遺跡の森(北海道北見市常呂町字栄浦)
プログラム実施の目的	北海道の遺跡博物館における学芸員活動の体験を通じて、地域固有の歴史遺産や民族文化の価値を体得するとともに、大学の地域貢献について実践的に学ぶ。		
具体的な内容(800字程度)	常呂実習施設は、北海道北見市に設置された人文社会系研究科・文学部の附属施設であり、北東アジア考古学を中心とした研究と、考古学実習や博物館学実習などの教育を行っている。加えて、地域との連携にも積極的に取り組んでおり、施設に隣接して設置された北見市の史跡博物館「とこ遺跡の森」と一体となって活動し、地域の社会教育にも貢献している。 この体験活動プログラムでは、常呂実習施設と「とこ遺跡の森」において博物館学芸員の活動を体験することによって、地域の歴史遺産や民族文化の価値を体得するとともに、大学と地域が一体となった研究教育活動のあり方について体験的に学ぶ。また、このプログラムの実施期間は、施設の位置するオホーツク海沿岸に流水が訪れる観光シーズンであることから、自然や観光資源に触れながら地域特有の文化を体験し、現在の地域が抱える様々な課題について考える機会も提供する。 受講者は施設に併設された学生宿舎に宿泊しながら、体験活動に従事する。活動の具体的な内容としては、見学者に対する展示解説や体験講座の講師など、地域の博物館学芸員がおこなう社会教育活動の体験、展示パネル掲示などの実技体験、資料の収集や整理などの研究活動体験、近隣の博物館の巡検等を予定している。		
【総額】参加するための費用	37,850円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	無料		
【内訳】参加するための費用(交通費)	28,000円(羽田→女満別往復航空券) 現地での移動は全て施設所有の車を使用するため無料		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費8,000円、博物館入館料1,700円(網走市内の博物館)、教材費150円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	・女満別空港にて集合・解散。空港から施設までは、施設の車で送迎する。 ・宿泊は施設附属の学生宿舎を利用。食事は、昼は外食、朝・夕は各自で用意。朝夕の食事は、学生宿舎に台所があるので自炊が可能。 ・受講者決定後、オンラインで事前ガイダンスを行う。その後、各自で航空便を予約すること。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	http://www.l.u-tokyo.ac.jp/tokoro/index.html		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		